

化け物ばものと踊おどった話

青森県

むかし、ある村に、化け物が出るといってお寺がありました。夜になると、「すっちゃんちやがら、すっちゃんちやがら」と、にぎやかな音が聞こえるので、だれも恐ろしがつて行くものはいませんでした。

村に、力じまんの若者がいました。ある日、若者は、

「おれが、その化け物、退治たいじしてくる」といって、出かけて行きました。

夜になって暗い本堂にごさをしいて寝ていると、夜中たひんごろ、大黒柱たいくわしちゆうの下から、何かがばさばさと飛びだしてきました。

「出たな」と思つて見ると、それは、蓑みのの化け物でした。

「おやおや」とびつくりしていると、またばさばさと音がして、笠かさの化け物が、大黒柱の下から飛び出して来ました。

それから、大きいつづらの化け物が飛び出して来て、つきには、じゃんがらじゃんがらと鉦かねの化け物が出てきて、どんどろどろと太鼓たいこの化け物、ぼんぼこと鼓つづみの化け物が、つきつき出て来ました。そして、

「さ、みんなで踊おどろう」というと、蓑も、笠も、つづらも、鉦も、太鼓も、鼓も、いっしょになつて、

古蓑 古笠 古つづら

古鉦 古太鼓 古鼓

すっちゃんちやがら ちゃんちやがら

と歌つて踊りだしました。

若者は、あんまりおもしろいので、しいて寝ていたごさをかぶつて、仲間なかまになつておどりだしました。すると、化け物たちが気がついて、

「おや、みょうな化け物が踊つてるぞ。おまえは何だ」とききました。若者は、

「おれ、古ふるごの化け物だ」といいました。化け物たちはおもしろがつて、

「そんなら、踊れ」といって、また歌いだしました。

古蓑 古笠 古つづら

古鉦 古太鼓 古鼓

古ふるごじやの化け物

すっちゃんちゃがら ちゃんちゃがら

踊っているうちに、夜が明けてきました。化け物たちは、

「さ、みんな、寝よう、寝よう」といつて、大黒柱の下にぞろぞろ入ってしまいました。

若者も、おどりで疲れて寝てしまいました。

夜が明けると、村の人たちは、若者が死んだのではないかと、見に来ました。若者は、元気に昨夜の話をしました。そこで、みんなで、大黒柱の下をほってみました。すると、古い蓑だの、笠だの、つづらだの、鉦だの、太鼓だの、鼓だのがありました。蓑は隠れかく蓑、笠は隠れ笠という宝物で、つづらには、金銀がいっぱい入っていました。宝物もお金も、古くなると化けるのだそうです。

おしまい。

村上郁再話

資料『津軽むがしこ集』川合勇太郎／東奥日報社